

UDタク 都内1万台へ

東タク協 五輪目標

トヨタ次世代車で弾み

2020年東京五輪・パラリンピック開催までに、都内でユニバーサルデザインUDタクシー車両台数を1万台に増やす構想が浮上している。17年度中に発売予定のトヨタ自動車「次世代タクシー」がUD仕様であることなどから、順次台数を増やしていく。福祉・UDタクシー車の政府数値目標、2020年2万8000台に近づける考えだ。東京ハイヤー・タクシー協会会長は3日の理事会で目標設定をする方向で決まると見られる。従来のタクシー車から、車内空間が広いミニバン・ワゴン等に転換する大きな動きと受けそうだ。

目標値の1万台は、特別 国土交通省が認定するUD 区・武三のUDタクシーの される。トヨタのUD仕様 区・武三地区法人タクシー 車両は日産自動車「NV2 数は20台と少ない。 タクシーが登場すること ・ハイヤー総台数のおよそ 00」のみ。東京タクシー 都内のタクシー車両の台 で、UDの増勢に弾みがつ 3分の1に当たる。現在、 センターのデータで、特別 時又期間は通算5、8年とく、NV200と同様、国

交通の補助金（地域公共交通 運賃軽減等改善事業・パリ フリー補助）の対象にな る見込み。セタン型のタク シー専用車「コンフォート」 シリーズは生産終了する予 定になっている。

東タク協の山村孝利副会 長（富麗自動車社長）は本 紙に「1万台の目標にはワ ゴン車は含まず、UD車だ けで」と説明。「トヨタの 次世代タクシーがUDなの で達成できるだろう。そう しなければ、2万8000 台は届かない」と指摘し た。富麗グループはこれま

で福祉タクシー分野をリードし、体なでつくる「オリシビ ック・パラリンピックを境 国交通では10月30日、鉄 道、バス、タクシー、自給 方移住会」（座長）秋山哲 男・中央大学研究開発機構 教授）を立ち上げ、成田・ 羽田空港ターミナルから、 大会競技会場や観光スポッ トまでの連続的なパリフリ 経路の整備に向け、詳細な 検討に入った。

メンバーにはタクシー業

界から山村氏と東京タクセ 野和宏バス事業経営改善担 当部長、東京バス協会の村 上伸夫理事長。